

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 生活困窮者自立支援機能強化支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 生活支援係 電話番号：058-272-1111(内3452)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 578 千円 (現計予算額： 3,044 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	3,044	3,044	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	578	578	0	0	0	0	0	0	0
決定額	578	578	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により、相談が増加している住居確保給付金への対応や生活困窮者への支援体制の強化が課題となっており、国において各自治体の実情に応じて柔軟かつ機動的に機能強化を実施することができるよう、都道府県を中心とした取り組みを支援するため、「新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金」が創設された。

生活困窮者への相談支援にかかる補助員配置や職場内訓練等を通じた人材育成、住居確保給付金の申請処理のための職員の雇用など、円滑な事務処理体制の強化や生活困窮者自立支援の支援体制を強化するため、県が市に支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

美濃加茂市が実施する、新型コロナウイルス感染症の影響により増加する外国人生活困窮者からの相談業務に対応するための通訳相談員の配置事業に対して、助成を行う。

【補正理由】

所要見込額の増加に伴う増

4,829千円(総事業費) × 3/4(国庫補助) = 3,622千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担無し

負担区分：市1/4、国庫3/4（新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	578	市への事業費補助
合計	578	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

生活困窮者自立支援は、生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として包括的な支援を行っているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、引き続き、複合的な問題を抱える生活困窮者に寄り添って自立を支援できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、複合的な問題を抱える生活困窮者に寄り添い自立を支援することを目的としており、指標の設定に馴染まないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	<p>増加する外国人の相談に対し、ポルトガル語、英語、タガログ語が可能な通訳を配置した結果、生活困窮者自立相談窓口での相談や支援をスムーズに行うことができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰等の影響により、相談が増加している住居確保給付金への対応など、生活困窮者への支援体制の強化が課題となっている。</p> <p>円滑かつ適正な事務処理体制の確保や支援体制の強化のため、県が市に支援を行う必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価高騰等の影響により、これまで以上に多種多様な生活困窮に関する相談が寄せられることが懸念される中、生活に困窮する方に幅広く対応できるよう、状況に応じた体制を整えていく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価高騰等の影響により、生活困窮に関する相談や業務が増加することが想定されるため、引き続き必要な支援に取り組んでいく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	